

議会ガイド

コロナに負けるな！

1年の計は元旦にあり！



令和3年1月1日、中泊町スポーツ協会主催の元旦マラソンが開催されました。寒波の影響であいにくの天候でしたが、スタート前には吹雪もやみ絶好のコンディションとなりました。昨年からのコロナウイルスの影響により様々な活動が中止や延期になっていますが、参加者のみなさんは今年の思いを胸に約2キロメートルのコースを走り抜けました。

第4回定例会（令和2年12月）

目次	■ 第4回定例会	……………	P 2～3
	■ 一般質問	……………	P 4～7
	■ 第2回臨時会・第3回臨時会	……………	P 8～9
	■ 活動報告・委員会だより	……………	P 10～11
	■ 議会の動き	……………	P 12

新農業委員15名の任命に同意

農地等の利用の最適化の推進に尽力を

第4回 定例会

12月3日～10日

令和2年第四回定例会が、12月3日から12月10日までの日程で開かれました。12月9日には一般質問が行われ、今博子議員、荒関富雄議員、塚本悦子議員の3名が、町側の答弁を求めました。

最終日の10日には、質疑、討論、採決が行われ、条例改正や一般会計補正予算など報告1件、議案19件、同意15件を全会一致で承認、可決、同意しました。

補正予算

■一般会計

補正予算第13号

補正前総額

96億3649万5千円

補正額

9154万6千円

補正後総額

97億2804万1千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□総務費

- ・小泊支所冷房設備設置工事 271万7千円
- ・個人住民税システム改修委託料 399万3千円

□民生費

- ・障害児通所支援事業費 275万1千円
- ・子ども子育て支援事業費(町内) 1873万7千円

□衛生費

- ・インフルエンザ予防接種等 342万5千円
- ・水道事業特別会計補助金 3269万円

□消防費

- ・五所川原地区消防事務組合負担金 2487万8千円

□教育費

- ・武田・薄市小学校冷房設備設置工事費 562万3千円

□公債費

- ・長期債元金 130万7千円
- ・長期債利子 △313万1千円

■国民健康保険特別会計

補正予算第3号

「事業勘定」

補正前総額 17億2473万8千円

補正額 223万8千円

補正後総額 17億2697万6千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

- ・償還金利子及び割引料 223万8千円

「診療施設勘定」

補正前総額 1億4708万4千円

補正額 △74万1千円

補正後総額 1億4634万3千円

主な補正額は職員人件費

■介護保険事業特別会計

補正予算第3号

補正前総額 17億8146万4千円

補正額 4662万9千円

補正後総額 18億2809万3千円

主な補正額(歳出)は次のとおり。

- ・システム改修委託料 204万6千円
- ・施設開設準備経費助成特別対策事業補助金 755万1千円
- ・地域密着型サービス等提供施設整備事業 3360万円
- ・介護給付費準備基金 339万4千円

■後期高齢者医療特別会計

補正予算第1号

補正前総額 2億9322万9千円

補正額 94万4千円

・補正後総額
2億9417万3千円

■水道事業特別会計

補正予算第2号

補正前総額

3億1552万8千円

補正額 △52万7千円

補正後総額

3億1500万1千円

主な補正額は職員人件費

条例関係

■中泊町議会議員及び中泊町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定について

公職選挙法の一部改正に伴い中泊町議会議員及び中泊町長の選挙における自動車の使用、ポスター及びビラの作成の公費負担について定めるもの。

■中泊町職員の高齢者部

分休業に関する条例の制定について

職員が高齢者として条例で定める年齢に達した日以後から定年退職日までの期間中、公務の運営に支障がないと認めるときは1週間の勤務時間の一部について勤務しないことを承認できることから所要の規定を整備するもの。

■中泊町職員の修学部分休業に関する条例の制定について

職員の公務に関する能力の向上に資すると認めるとき、大学その他の条例で定める教育施設における修学のため必要と認められる期間中、1週間の勤務時間の一部について勤務しないことができるところから所要の規定を整備するもの。

■中泊町総合計画審議会条例の全部改正について

総合計画の審議等について、広く見識を有する者から意見を聴取できるようにするため。

■中泊町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

■中泊町特別職の給与に関する条例の一部改正

■中泊町職員の給与に関する条例の一部改正

■中泊町職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正

■中泊町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について

成年被後見人等に係る欠格条項その他の権利の制限に係る措置の適正化を図るため、地方公務員

法の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改めるもの。

■津軽鉄道株式会社に対する固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について

津軽鉄道株式会社に対する固定資産税の課税免除適用期間を3年間延長するもの。

■中泊町地域包括支援センター設置条例の一部改正について

中泊町地域包括支援センターの移転に伴い条例の一部を改めるもの。

■中泊町国民健康保険税条例の一部改正について

地方税法施行令の一部改正に伴い条文を整備するもの。

■中泊町国民健康保険条例の一部改正について

感染症に感染したこと又は感染が疑われる症状が現れたことにより療養し、労務に服することができない被保険者で、給与の支払を受けているものに対して、傷病手当金を支給するための期間を延長するもの。

※「12月31日」までを「規則で定める日」に改める。

■中泊町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

地方税法等の一部を改正する法律により、延滞金を算出する際に用いる割合の名称などが変更されたことに伴い条例の一部を改正するもの。

■中泊町農業委員会委員15人の任期が令和3年3月27日で任期満了となるため、後任委員の同意を求めるもの。

人事案件

■中泊町農業委員会委員15人の任期が令和3年3月27日で任期満了となるため、後任委員の同意を求めるもの。

農業委員

- ・外崎 満幸
- ・藤田 次男
- ・田中 満
- ・大川 勝仁
- ・青山 邦榮
- ・小野美恵子
- ・葛西 誠
- ・神 良一
- ・松田 耕司
- ・木村 巧
- ・松坂 龍美
- ・澤田 健吾
- ・瓜田 益子
- ・三上 孝
- ・坂本 朝彦

専決処分

■損害賠償の額の決定

町が雇用するスクールバス運転手が児童送迎中、対向車とすれ違う際に誤って民家のブロック塀を破損させたことから、被害額の一切を町が支払うもの。

・被害額

62,315円

一般質問

※一般質問とは議員個人が町政全般に対し、行政側に現状や見通しを聞くことです。
記載されている内容は簡略化したものです。再質問、再々質問は記載しておりません。

●健康増進団体への支援策について



今 博子 議員

Q

健康づくりは、医療費の節減だけでなく、人々の生活に充実感を与え、また連帯感、生きがいをもたらすものであると言われている。

なかどまり健康づくり宣言が行われ、宣言の中に中泊町の「ど」から始まる「努力します、健康で笑顔あふれるまちづくり」がある。これは、自ら健康づくりに努め、みんなで一緒に健康づくりの輪を広げましょうと説明されている。先日開催されたなかどまり町健康づくりフォーラムでは、自分たちの健康を守るため活動している自主運動グループ「Nプロ」、漁業組合での健康を考えた取組等が紹介された。その中で町長は、健康増進のため外部からの先生を招致してやっているのであれば、町としてもそれなりの協力をしていきたいと述べたが、町として団体にどのような支援を考えているのか。これから新しく団体をつくって活動しよ

うとする方々のためにも、具体的な支援の方向性をお伺いする。

A

■山中哲哉町民課長

町では、これまで町民の方々の健康増進のため、第2次中泊町長期総合計画において、「健康とともに支え合うまちづくり」を基本目標の一つに掲げ、生活習慣予防や介護予防といった予防に重点を置いた健康増進事業を推進している。

健康増進のための団体と



測定の説明を受ける漁協組合員

例えば、スポーツを主としたものや健康を意識し取り組んでいるものなど、様々な形態で活動している。

町としては、健康増進のための団体を支援することも大事だが、次世代の健康リーダーを育成する取組をさらに広げていくことが町の健康寿命を伸ばすとともに、医療費や介護保険料の抑制にもつながり、安心して暮らせるまちづくりのためには必要不可欠なものと考えている。

現在活動している団体、またはこれから新しく団体を立ち上げ活動する団体への支援に当たっては、運営の維持のための補助金、リーダー育成の講師派遣。町の施設を活動拠点としている場合には、使用料の減免等、いろいろな形があると考えている。

今後どのような支援がその団体に必要なのかを見極め、健康増進のための支援について検討をしてみたい。



毎週火曜日に活動している「Nプロ」サークル

お詫びと訂正

議会ガイド第62号におきまして字句の表記に誤りがありましたので訂正しお詫びいたします。

誤 中泊町総合福祉健康センター温泉発掘工事
正 中泊町総合福祉健康センター温泉掘削工事

- 第2次長期中泊町総合計画について
～ソフト・ハード事業の状況は～
- 中里地域小学校統廃合について
- 交通安全対策について



荒関富雄 議員

Q

第2次長期中泊町総合計画についての重点プロジェクトのソフト事業、中泊ブランド推進地域活性化プロジェクトと中泊メバ活は地方創生推進交付金事業を活用して行っている事業と認識している。活動状況並びに結果をお伺いする。

■ 濱館豊光町長



A

中泊町長期総合計画のソフト事業、ブランド化、メバ活の関係について、進捗状況についてお答えする。

ブランド化、様々な捉え方があるが、中泊町自体が他の人に対して中泊町のものはいいと、安心して買える、見られる町のブランドづくりをしていきたいと思っている。

町のイメージを高めてい

くための一つとして様々なことを行っている。中泊といえはメバル、メバルといえは中泊と、メバル関連の商品を様々開発している。

メバル関連の商品を3月までに1つはリニューアル、1つは新規に、また開発し、公表したいと思っている。

そのほか、今マツカワガレイの養殖を実施しているが、中泊町といえはマツカワガレイと、いうブランドイメージをつくりやっていきたいと思っている。

もう一つは、宮越家である。文化の町中泊町としてイメージを上げていくようなブランド戦略を展開したいと考えている。

様々な側面から、中泊町は野菜でも観光でも文化でもいいものがいっぱいあるというイメージ戦略をこれからも続けていきたいと思っている。

Q

総合福祉健康センターの建設事業はいつ頃までにどのような

形でできるのか。財政的に大変な部分もあるとは思いますが、計画年度の中で終了できるのかお伺いする。

■ 横野彰吾副町長



A

中泊町総合福祉健康センター建設事業については、基本構想及び事業認定、建築の基本設計、造成設計などの各種業務委託及び温泉の掘削工事を発注しており、令和4年度末の完成を目指している。

Q

中里地区の排水路整備事業について、国土強靱化事業等補助があるように伺っている。有効な資金を活用し、排水の整備事業に着手していただきたいと思っているが現在の状況をお伺いする。

A

中里地区排水路整備事業については、大雨の際に雨水を一時的にためる調整池を3か所設置する内容である。概算事業費が11億円余りとなるが、高額な金額であるため、この財源の確保に向けて該当する国庫補助事業等がないか、現在情報収集に努めているところである。

■ 横野彰吾副町長

Q

中泊町の総合運動公園改修事業陸上競技場の改修については、五所川原圏域定住自立圏の担当課長会議などで話し合わせ、また首長会議などの協議等の答弁は前回いただいている。その後の経過等についてお聞きする。

A

中泊町運動公園改修事業の陸上競技場の改修については、9月の議会定例会でお答えしたとおり、当町としては来年度五所川原圏域定住自立

圏から県知事への重点要望の中で、広域での施設利用を根拠として県による支援を要望することとしている。

Q

人口減少化の中で、小泊地域は今小中一貫校の建設に着手しているが、中里地域の小学校の統合等についてはどのように教育委員会でお考えなのか伺います。

■米塚鈴子教育長



A

中里地域の小学校の児童、学級数は、平成元年度は1,090人、53学級であった。その後児童数は減少し、令和元年度では、281人、約75%の減、18学級に減少している。

学校別では、中里小学校は、令和2年度の児童在籍数が137人、令和7年度

には136人、武田小学校は令和2年度が78人令和7年度には60人、薄市小学校は、令和2年度が47人、令和7年度には40人と推計している。

このような中、薄市小学校は令和2年度から2年・3学年が複式学級に、更に令和4年度には学級編成基準では複式学級が2学級に増え、武田小学校でも令和3年度から2年・3年が複式学級となる予定である。

中里地域の児童数の減少が進む中、次代を担う子供たちがこれからの変化の激しい社会を生きるため、学校教育において確かな学力や豊かな人間性、知・徳・体、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育てることが大切であり、義務教育の効果を十分発揮できる環境づくりが重要であると考えている。

教育委員会としては、今後第2次中泊町長期総合計画に基づき、保護者、地域住民、議員代表、教職員代

表等による(仮称)中里地域の子供たちの教育を考える会を設置し、多様な視点から協議を重ねてまいりたいと考えている。

学級編成の標準 (小・中学校)

	小学校	中学校
同学年の児童で編成する学級	35人(1年生) 40人(2~6年生)	40人
複式学級(2個学年)	16人 (1年生を含む場合8人)	8人
特別支援学級	8人	8人
特別支援学校(小・中学部)	6人 (重複障害 3人)	

Q

庁舎から一般道への出入口にパルナス入り口看板、桜の木があり、左右の安全確認が非常にできにくい。みちのく銀行や消防署が建つところまで以上に交通量が増え安全確認が必要となる。看板

の移動、桜の木の移植及び横断歩道の設置は必要と感ずるが対策を考えているか伺います。

■葛西成芳総務課長

A

役場本庁舎及びパルナス駐車場から車で出る2か所の出入口は、安全確認ができる範囲で支障となっている樹木の伐採か枝の剪定、パルナス側の看板を移転か撤去する方向で、現場に合った対応をしたいと考えている。

横断歩道に関しては、昨年町では、五所川原警察署へ当該町道の2か所に対して横断歩道設置の要望書を提出している。1か所は、エムス近くのみじ団地出入口で横断歩道が既に設置されている。

もう一か所は、役場本庁舎、パルナス出入口付近への設置を要望したが、国道339号の交差点に横断歩道があることから、基準を満たすことができず現状は設置されておりません。

ただ、今後みちのく銀行の移転などで歩行者が増えた場合は、再度検討することである。

Q

役場庁舎前にみちのく銀行が移転されると、交通量が多くなり、役場駐車場から道路へ出入りが難しくなることが予想される。それを解消するためにもみじ団地方面へ抜ける道路が必要と思われるが計画はあるのか伺います。

A

■葛西成芳総務課長

役場本庁舎、パルナス駐車場の今後の整備については、みちのく銀行の移転や統合消防署の建設を考慮し、駐車場出入口増設の検討や歩行者通行帯の設置など、交通安全対策に努めてまいります。

●食品ロス削減対策について

- ・当町の食品ロスに対する取り組み、啓発の現状は！
- ・「食品ロス削減の町」の宣言を！



塚本悦子 議員

Q

現在SDGsが
目指す環境への負

荷が少ない生産と消費、廃棄を実施する循環型経済が注目されている。食べられるのに捨てる食べ物、売れ残りや食べ残しを食品ロスと言っている。政府は昨年食品ロス削減推進法を成立させ、本年3月、食品ロスの削減推進法に関する基本的な方針を閣議決定しました。中身は、都道府県、市町村においては食品ロス削減推進計画を策定、地域の特性に応じた取組を推進するよう努めなければならぬとなっている。

そこで、我が町ではこの食品ロス削減についてのどのような取組、啓発を行っているか、現状をお伺いする。

A

■濱館豊光町長

我が町では、食品ロス削減に係る取組を行っている。中泊町が誕生した翌年の平成18年度に、地球の資源を浪費する大量生産、大量消費、大

量廃棄の使い捨て時代から、適量生産、適量消費、最少廃棄の循環型社会へ転換し、限りある地球資源を守り、

持続的に発展可能な地域社会の構築に努め、将来に引き継いでいくため中泊町もつたいない町民運動による循環型まちづくり条例を制定し、取組を行っている。

その他、中泊町食生活改善推進委員会は、子供から高齢者まで各世代に合った食育活動を進めるというテーマで活動をしている。

また西北地域のVIC・ウーマンの会奥津軽支部には当町から9名の女性が地域資源を生かした直売、加工品販売等、地域活性化の牽引役として活躍をし、食費ロス削減に一定の効果をもたらしているものと理解をしている。

このように、世界規模での取組である持続可能な開発目標SDGsがスタートする前から、我が町でも循環型社会の重要性を認識し、条例を制定し、各団体によ

る活動が積極的に行われてきていると認識をしている。

今後も食品ロスの削減については町民の皆さんにも機会あるごとに呼びかけをし、啓発をしまいたい。

Q

■三上晃瑠総合戦略課長

我が町は農業、漁業、林業の町であり、SDGsの「つくる責任つかう責任」の地球に優しい食品ロス削減の町として、大々的なスローガンをお伺いする。

A

町では町民文化祭等を通じてリデュース、リユース、リサイクルの3Rの気運を醸成す

ることで、無駄を省き限りある資源を守り、持続的に発展可能な地域社会の実現を目指している。

ほかの地域の取組事例として、全国各地で開設されている子ども食堂がある。

県内でも開設事例があり、困難を抱える子供たちへの支援を中心に、地域の様々な子供たちと地域住民を対象とした交流拠点を設けての活動が行われていると承知している。

当町でも、食品ロス削減と、必要などころに食品が届くシステム構築も検討してみたいと考えている。

これからも当町の豊かな大地の恵と海の幸を守り続けるため、環境に優しく安全で安心な循環型社会実現のため、地域全体で取り組んでまいります。



令和2年第2回中泊町議会臨時会

新型コロナウイルス感染症対策 エール花火などー億2,358万円追加

令和2年第2回中泊町議会臨時会が10月7日に開催されました。補正予算と工事請負契約の締結について審議され、可決されました。

補正予算

■令和2年度中泊町一般会計補正予算第10号

補正前

94億8254万3千円

補正額 1億2358万円

補正後

96億612万3千円

主な歳出(補正額)は次のとおり。

□総務費
・エール花火 150万円

□教育費
・冷房設備設置工事設計業

□衛生費
・他会計繰出金(診療施設勘定) 294万8千円

□消防費
・防災備蓄倉庫建設工事 2686万2千円
・空気清浄機 1605万9千円
・AI顔認識避難所管理システム一式 657万5千円

■中泊町国民健康保険特別会計補正予算第3号

補正前

17億2388万9千円

補正額 84万9千円

補正後

17億2473万8千円

□診療施設勘定

補正前 1億4413万6千円
補正額 294万8千円
補正後

務委託料

294万8千円
・中里小・中学校冷房設備設置工事 2909万円

その他

1億4708万4千円

主な歳出(補正額)は次のとおり

・小泊診療所感染症対策改修工事 294万8千円

■工事請負契約の締結

□工事名
(仮称)こどもり小中学校建設工事

□契約金額 21億320万円

□契約先
安藤・間・北信建設・竹内組特定建設工事共同企業体
□代表者
(株)安藤・間 東北支店

議会中継は初日から最終日までインターネット配信しています。

インターネットの視聴は

<http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

でご覧になれます。

役場・パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館ロビーでもご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。

また、議会会議録もHPで閲覧できるようになりました。

閲覧の方法は、中泊町役場ホームページ → 議会 → 会議録 となります。

令和2年第3回中泊町議会臨時会

新型コロナウイルス感染症対策 ものづくり企業雇用継続支援金など追加

令和2年第3回中泊町議会臨時会が11月11日に開催されました。補正予算及び工事請負契約の締結、専決処分について審議され、承認、可決されました。

96億612万3千円
補正額 1547万2千円
補正後総額 96億2159万5千円

補正予算

その他

■中泊町一般会計

補正予算第12号

■中泊町一般会計

補正前総額 96億2159万5千円

補正額 1490万円

補正後総額 96億3649万5千円

■工事請負契約の締結

□工事名

中泊町総合福祉健康セン

ター温泉掘削工事

□契約金額 7645万円

□契約の相手方

大泉開発 株式会社

主な補正額(歳出)は次のとおり。

□商工費

・ものづくり企業雇用継続支援金 1490万円

専決処分

■中泊町一般会計

補正予算第11号

補正前総額

主な歳出(補正額)は次のとおり。

・インフルエンザ予防接種費

1547万2千円

■中泊町承認地域経済牽引

事業のために設置される

施設に係る固定資産税の

特別措置に関する条例の

一部改正

地域経済牽引事業の促進

による地域の成長発展の基

盤強化に関する法律第26条

の地方公共団体を定める省

令の一部改正に伴い、条文

を改正するもの。

傍聴席は、あなたの席です!!

中泊町議会 令和3年 第1回定例会は、3月上旬です。

会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

令和2年 第4回定例会の傍聴者は14名でした。

※耳が不自由な方にはイヤホンをお貸しします。遠慮なくお申し出ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
傍聴される方には次のことをお願いしています。

- ・発熱等、体調不良の方、マスクの着用のない方の入場はお断りします。
- ・入場時に検温をし、37.5度以上熱のある方の入場はお断りします。
- ・入場時には手指消毒をお願いします。

活動報告

正副議長・事務局長研修会

10月22日、青森県共同ビルにおいて正副議長・事務局長会議が開催され、長利議長、荒関副議長、宮越事務局長が出席しました。

講師の山梨学院大学法学部政治行政学科・大学院社会科学部研究科教授 江藤俊昭氏は、「地方議会改革の最前線 -With コロナ時代の地方議会-」と題し、講演されました。



宮越家「離れ・庭園」町民限定内覧会見学



11月1日、議員一行は宮越家「離れ・庭園」内覧会を訪れました。

当日は公開に向け学習してきたボランティアガイドによる説明を受けながら詩夢庵内のスタンドグラスの他に、きれいに整備された庭園を1時間かけて見学しました。

宮越家「離れ・庭園」
一般公開オープニングセレモニー

11月2日、宮越家「離れ・庭園」一般公開オープニングセレモニーに長利議長が出席いたしました。

長利議長は「町の歴史と文化を象徴する文化財が誕生し、大変喜ばしい限り」と祝辞を述べた後、町長、波平暁秀氏(小川三知氏の孫)らと一緒にテープカットを行い、宮越家「離れ・庭園」の新たな門出をお祝いいたしました。



知事を囲む行政懇談会

知事を囲む行政懇談会が11月16日、クラウンパレス青森で開催されました。

西北津軽郡町議会議長会の代表として、長利議長が「次世代を担うスマート農業の普及推進」について要望いたしました。

県側からは「来年度の国の事業においては、スマート農業導入の優先枠の予算を拡大する動きがあるので、県としては、事業を有効に利用してスマート農業対応の機械導入を支援していく」と回答をいただきました。



委員会だより

議会運営委員会 (委員長 青山 雅晴)

○令和2年11月5日(木) 第7回議会運営委員会

〈案件〉

- (1) 令和2年中泊町議会定例会会期の日程及び議会運営に関する事項について
- (2) 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- (3) その他

○令和2年11月25日(水) 第8回議会運営委員会

〈案件〉

- (1) 一般質問について
- (2) 提出議案について
- (3) 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- (4) その他



議会運営委員会の様子

広報委員会 (委員長 成田 直人)

○令和2年10月23日(金) 第3回広報委員会

〈案件〉

- (1) 議会ガイド第62号(案)について
- (2) その他



広報委員会の様子

12月

- 10日 単行案審議・採決・閉会
- 9日 定例会一般質問
- 3日 第4回中泊町議会定例会開会

11月

- 25日 第8回議会運営委員会
- 19日 中泊町善行者・功労者表彰式
- 16日 知事を囲む行政懇談会
- 12日 海上安全祈願祭
- 11日 第3回中泊町議会臨時会
- 10日 国営小田川二期土地改良事業
完工式
- 5日 第7回議会運営委員会
- 2日 オープニングセレモニー

10月

- 6日 西北津軽郡議会議長会協議会
第2回協議会
- 7日 第2回中泊町議会臨時会
- 20日 五所川原車力線(津軽令和大橋)
開通式
- 22日 正副議長・事務局長研修会
- 23日 第3回広報委員会
- 1日 宮越家「離れ・庭園」町民限定
内覧会
- 2日 宮越家「離れ・庭園」一般公開

新型コロナウイルス感染クラスターを防ぐ 感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



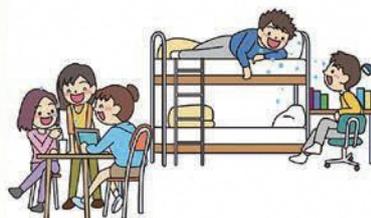
場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



厚生労働省HPから

編集後記

▼二〇二一年、一步一步の前進という丑年を迎え、災厄のない健康で幸多かれの年であることを祈る。

▼町は、一月十日に九十三人を対象とした成人式を挙行。責任と覚悟を秘めた凛々しさが印象的で、しかも新成人メッセージでは、投稿者十八人の内、半数の九人が「頑張る」との力強い描出をしており、次世代を担う立派な大人への階段を一步一步上がって行く、そうした頑張りを大いに期待する。

▼新型コロナウイルスは感染者が拡大し、医療現場の逼迫や経済の低迷状態が続く中国は、一月七日に首都圏四都県に、その後、七府県にも緊急事態宣言を再発令した。日常生活の中で、「コロナ慣れ」していか自戒し、マスクの着用、不要不急の外出や大人数での会食を控えるなど、自ら感染予防策を徹底することはとても大事であると認識する。

▼議会ガイドは、見やすさ、分かりやすさを追求しつつ精励する所存ですので、今後とも一層のエネルギーをお願いしたい。
〈委員長・成田直人〉